

科目	地理総合	単位数	2	履修学年・クラス（講座）	2年普通科・商業科
使用教科書	新地理総合（帝国書院）		新詳高等地図（帝国書院）		
補助教材等	新編地理資料2023（とうほう）		サクシード地理（啓隆社）		

1 学習の到達目標

高度情報化・国際化が進む中で、世界が直面する様々な課題に対する知識・見方・考え方を身に付ける。また、多様な自然と人間相互の関係やそこから生まれた文化、さらには地理的な技能を学び、自らの手で考察できる力を養う。

2 学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

単に知識を身に付けるのではなく、それぞれの関連性や理屈・道理を理解するように心掛ける。地図で場所を調べたりといった単純なことをきちんと行うことも大切である。また、授業以外にも世界で起こっている出来事に注意を払い、現代世界の動きに興味を持ってほしい。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	地理に関する知識を身に付け、その関連性をきちんと理解できているか。地理的な技能、地形図・統計などをきちんと読み取れるか。	学んでいること・出来事がどんな意味を持つのか考え、自分の意見として適切に表現できるか。	地理的事象や日常の出来事に興味を持ち、新聞・タブレットなどを通して自ら学ぶ姿勢を身に付けることができるか。
主な評価方法	定期テスト	定期テストの思考・判断・表現に関する問題 授業内での取り組み	授業態度 提出物

4 学習及び評価計画

※評価の観点：（a）知識・技能、（b）思考・判断・表現、（c）主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時数	学習内容	評価規準
4	第1部 地図でとらえる現代世界	6	1. 地図と地理情報システム	時差・地図に関する理解(a)(b)

5		6	2. 結びつきを深める現代世界	読図 (c) 国家・国家の結びつき・通信網に関する理解(a)(b)
6	第2部 国際理解と国際協力	4	1. 世界の地形と人々の生活	大地形・小地形の理解・考察(a)(b)
		4	2. 世界の気候と人々の生活	気候と産業の理解・考察(a)(b)
7		4	3. 世界の言語・宗教と人々の生活	言語・宗教・歴史/と人々の生活の関連についての理解(a)(b)
8		4	4. 歴史的背景と人々の生活	
		4	5. 世界の産業と人々の生活	農業・工業に関する理解(a)(b)
9		4	6. 複雑に絡み合う地球的課題	6.~11.地球的課題と国際協力に関する理解・問題意識 (a)(b) (c)
10		4	7. 地球環境問題	
		6	8. 資源・エネルギー問題	
11		4	9. 人口問題	
		4	10. 食料問題	
12	第3部 持続可能な地域づくりと私たち	6	11. 都市・居住問題	
1		5	1. 自然環境と防災	自然災害に関する理解・課題認識、興味 (a) (b) (c)
2		5	2. 生活圏の調査と地域の居	